

3. 調査実施及び調査地点状況

3.1 調査実施日

本年度調査は、以下に示す調査日で実施した。

- ・後志利別川水系 : 令和3年8月26日(木)～27日(金)
- ・石狩川水系 : 令和3年8月24日(火)～25日(水)、9月4日(土)
- ・天塩川水系 : 令和3年9月2日(木)～3日(金)
- ・常呂川水系 : 令和3年8月30日(月)～9月1日(水)
- ・十勝川水系 : 令和3年8月18日(水)～21日(土)

3.2 調査地点状況

本年度調査の調査地点は、散乱、漂着ごみ、マイクロプラスチック量の経年変化を見るため、昨年度調査と同じ河川系、地点を対象とした。

後志利別川			
	稲穂橋	兜野橋	せたな
			
石狩川	江神橋	美原大橋	札幌大橋
			
石狩			
天塩川			
	名寄大橋	天塩河口大橋	浜里

図 3-1(1) 現地調査時の地点状況

常呂川			
	開成橋	南町堰湛水地	南町堰下流
			
北見市浄化センター	常呂橋	北見	
十勝川			
	十勝橋	平原大橋	十勝大橋
			
	十勝温泉地下流	十勝河口橋	大津下水浄化センター
			
大津海岸			

図 3-1 (2) 現地調査時の地点状況

3.2.1 後志利別川

後志利別川の調査地点は図 3-2 に、現地調査時の各地点状況は図 3-3～図 3-5 に示すとおりである。後志利別川は全体の 70%が森林であり、上流は山間部に位置する。下流に行くに従って水田、農地としての土地利用が増えており、今金町及びせたな町に人口が集中している。河川沿いにはパークゴルフ場(今金町)、生コンクリート工場や食品製造工場(せたな町)が存在する。

昨年度調査では、稲穂橋(今金町)は、後志利別川の上流調査地点として設定された。稲穂橋より上流は山林が大部分を占め、上流のダム湖であるピリカ湖周辺に自然公園、スキー場及びキャンプ場、観光農園が存在する。都市部は稲穂橋の下流に位置し、水田や農地が市街地の周辺を囲むように広がっている。

兜野橋(せたな町)は、後志利別川の下流に位置し、陸域からの影響を把握するため昨年度調査の調査地点に設定された。兜野橋の上流には下水処理場が 2 箇所存在し、今金町及びせたな町での廃水を処理している。

また、せたなの海岸は、海域及び河川からの漂着物の影響を把握するため昨年度調査の調査地点として設定された。せたな町はコンブ、ホタテ、ウニなどの共同漁業権が設定されており、漁港や釣具屋、民宿などが存在する。

なお、本年度調査は、昨年度と同じ地点で調査を行うこととした。

後志利別川の「河川ごみマップ」は図 3-6 に示すとおりである。同マップによると、稲穂橋、兜野橋周辺でレジ袋やペットボトル等のプラスチックごみが見られ、古タイヤなど大型ごみの不法投棄も確認されている。

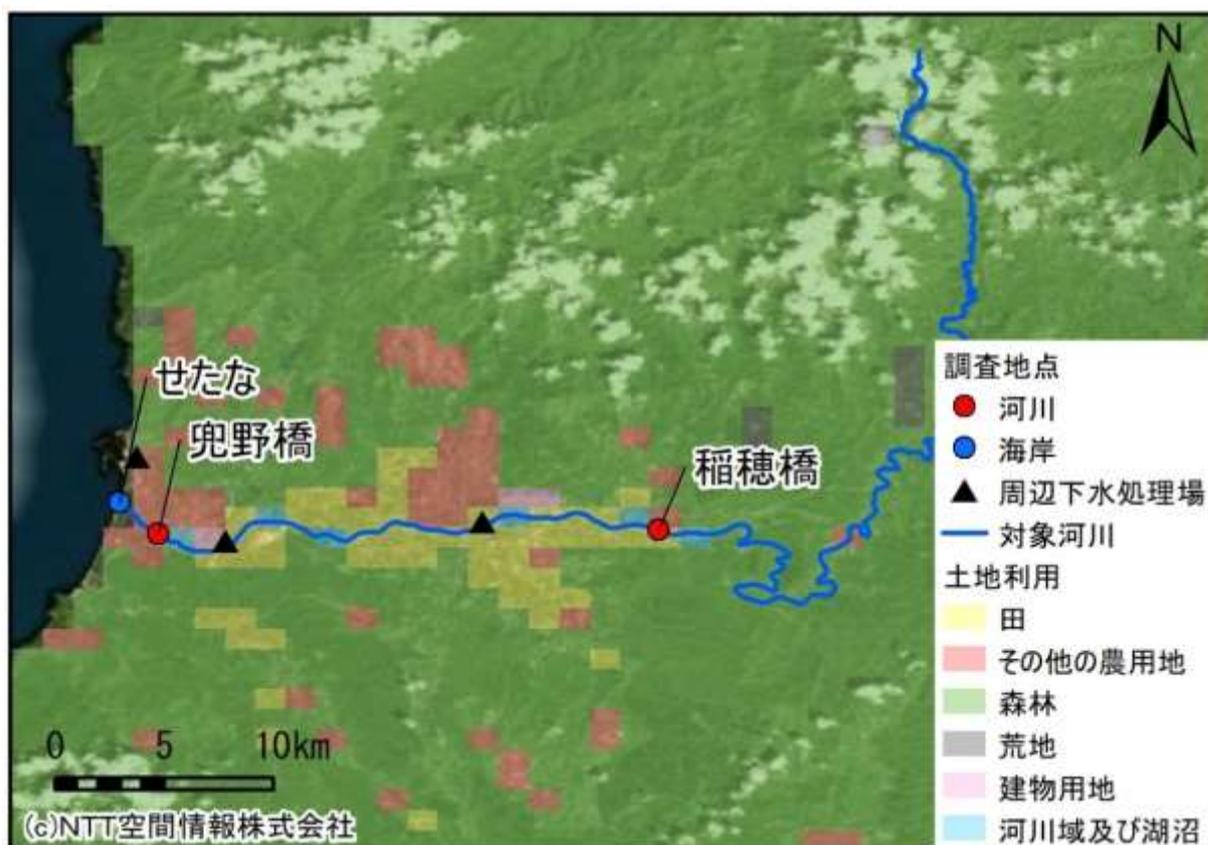


図 3-2 調査対象地域詳細図 (後志利別川水系)



調査対象地域詳細図（稲穂橋）



河川ごみ調査地点



マイクロプラスチック採取地点(橋上)

図 3-3 調査地点(稲穂橋)



調査対象地域詳細図（兜野橋）



図 3-4 調査地点(兜野橋)



調査対象地域詳細図（せたな）



漂着ごみ調査地点



マイクロプラスチック採取

図 3-5 調査地点(せたな)

いっまでもキレイがいっぱい！
後志利別川ゴミマップ

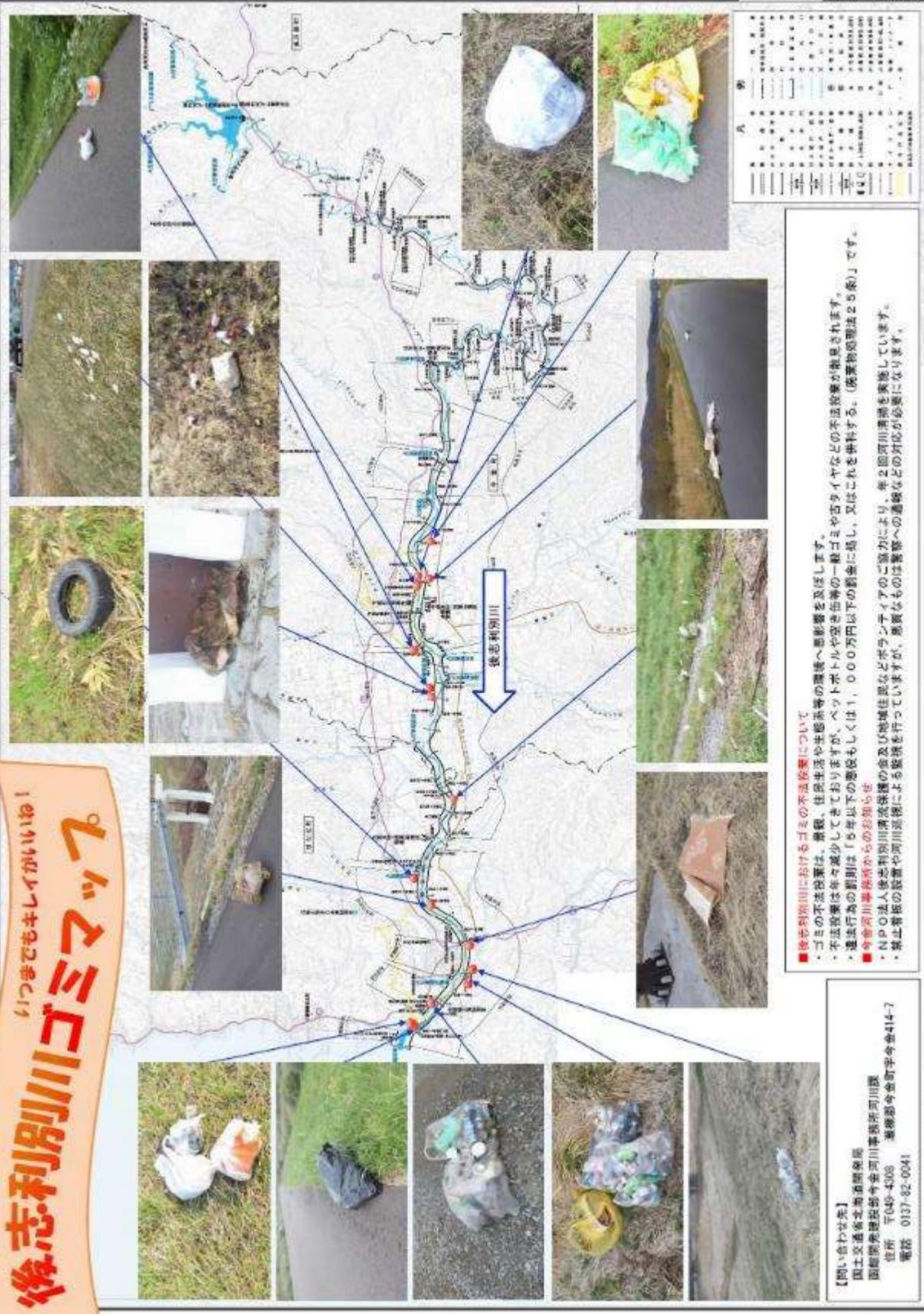


図 3-6 後志利別川ゴミマップ(令和2年作成) 函館開発建設部 今金河川事務所

3.2.2 石狩川

石狩川の調査地点は図 3-7 に、現地調査時の各地点状況は図 3-8～図 3-11 に示すとおりである。石狩川は上流に旭川市(人口 32 万人)、下流に札幌市(人口 197 万人)を中心とした、比較的大きな都市部をその流域に擁する河川である。流域面積も全国 2 位となっており、美原大橋より上流において、河川を中心に水田、農地としての土地利用が多い。

昨年度調査では、江神橋(旭川市)は、旭川市からの影響を把握するため調査地点として設定された。調査地点は市街地を抜け、旭川市下水処理センターの下流である。

石狩川下流部は、都市部の入り口である美原大橋(当別町)にて上流の水田地帯からの影響を、札幌大橋(江別市)にて都市部、工業地帯及び水再生施設の影響をそれぞれ把握するため調査地点を設定した。

また、石狩(石狩市)の海岸部は、サケの定置網漁業権があり、石狩湾内ではホタテの漁業権も存在している。河川と海域からの影響を把握するため、河口域に調査地点を設定した。

なお、本年度調査は、昨年度と同じ地点で調査を行うこととした。

石狩川の「河川ごみマップ」は図 3-12～図 3-14 に示すとおりである。同マップによると、上流の旭川市では一般の家庭ごみのほか電子レンジなどの家電、古タイヤなどの廃車機械ごみなどが多く確認されている。

また、下流の美原大橋周辺では家庭ごみ、産業廃棄ごみの不法投棄が多く確認されている。さらに下流の札幌市は、石狩川に接続する豊平川上流において、バーベキュー後に置き去りにされたコンロや炭、シート類のほか、家庭ごみの投棄が多く、石狩川最下流の石狩市周辺では、家電など大型のごみの投棄が多く確認されており、不法投棄が問題となっている。

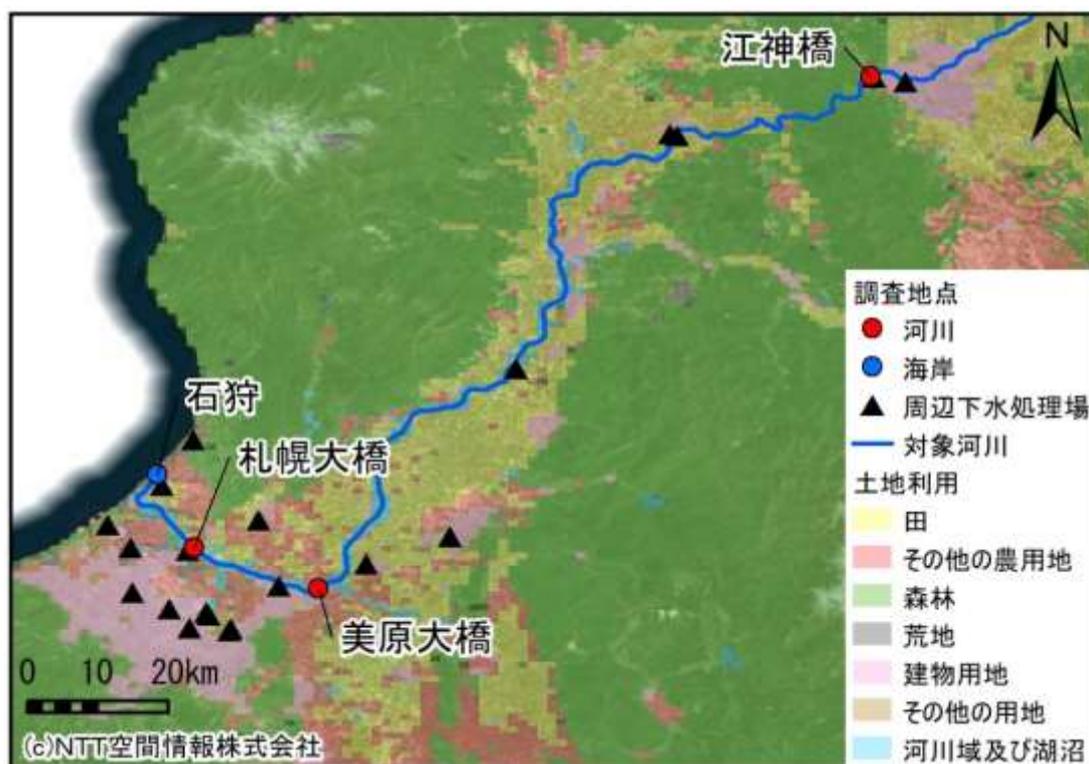


図 3-7 調査対象地域詳細図(石狩川水系)



調査対象地域詳細図（江神橋）



図 3-8 調査地点(江神橋)



調査対象地域詳細図（美原大橋）



河川ごみ調査地点



マイクロプラスチック採取地点（橋上）

図 3-9 調査地点(美原大橋)



調査対象地域詳細図（札幌大橋）



河川ごみ調査地点



マイクロプラスチック採取地点（橋上）

図 3-10 調査地点(札幌大橋)



調査対象地域詳細図（石狩）



漂着ごみ調査地点



マイクロプラスチック採取

図 3-11 調査地点(石狩)



図 3-12 石狩川上流ごみマップ(令和2年作成) 旭川開発建設部 旭川河川事務所

不法投棄は**重大犯罪**です。 警察への通報など厳正に対処します。

不法投棄は、法律により厳しく罰せられます

5年以下の懲役 もしくは

1,000万以下の罰金

または **この両方**

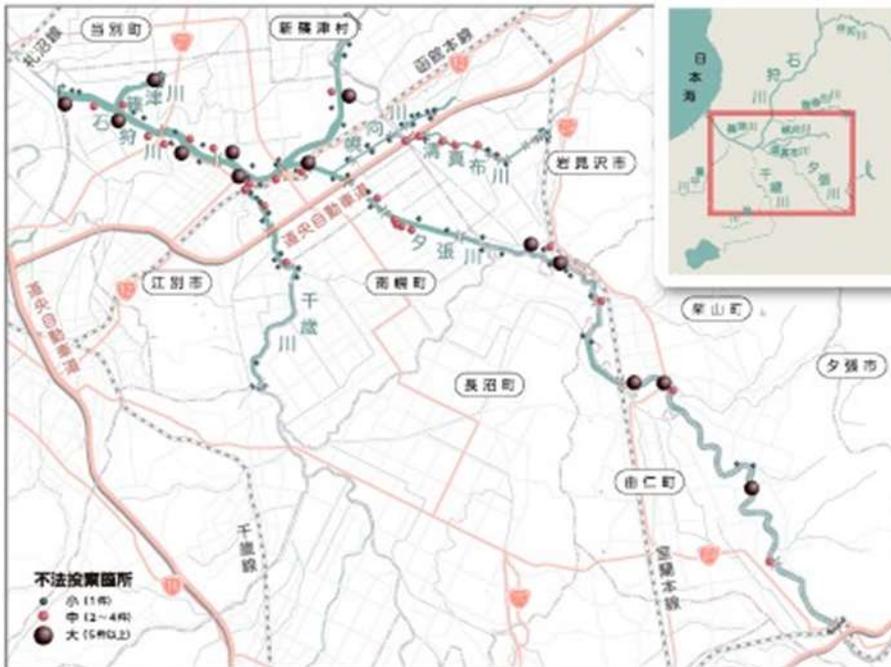
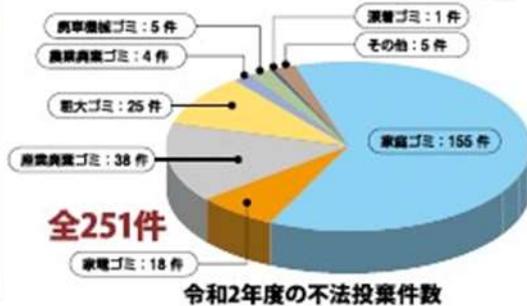
※法人の場合、さらに
3億円以下の罰金 の併科



江別河川事務所で処理したゴミの費用

不法投棄のために**約800万円**もの費用が**大切な税金**から支出されています。（江別河川事務所管内 令和2年度）
「不法投棄は絶対に許さない!」という**あなたの目**が不法投棄を無くします。
地域の皆様ひとりひとりの協力が必要です。

不法投棄を発見したら、警察または江別河川事務所へご連絡ください。



川の水は飲み水などにも利用しています。
ゴミで汚れると、魚や植物などにも悪影響があります。
不法投棄はしない。
不法投棄をさせない。
みんなで環境を守りましょう。



あしたを創る 北の知恵
北海道開発局 札幌開発建設部 〒067-0074 江別市高砂町5
江別河川事務所 TEL (011)382-2358

図 3-13 石狩川江別市周辺ごみマップ(令和2年作成) 札幌開発建設部 江別河川事務所

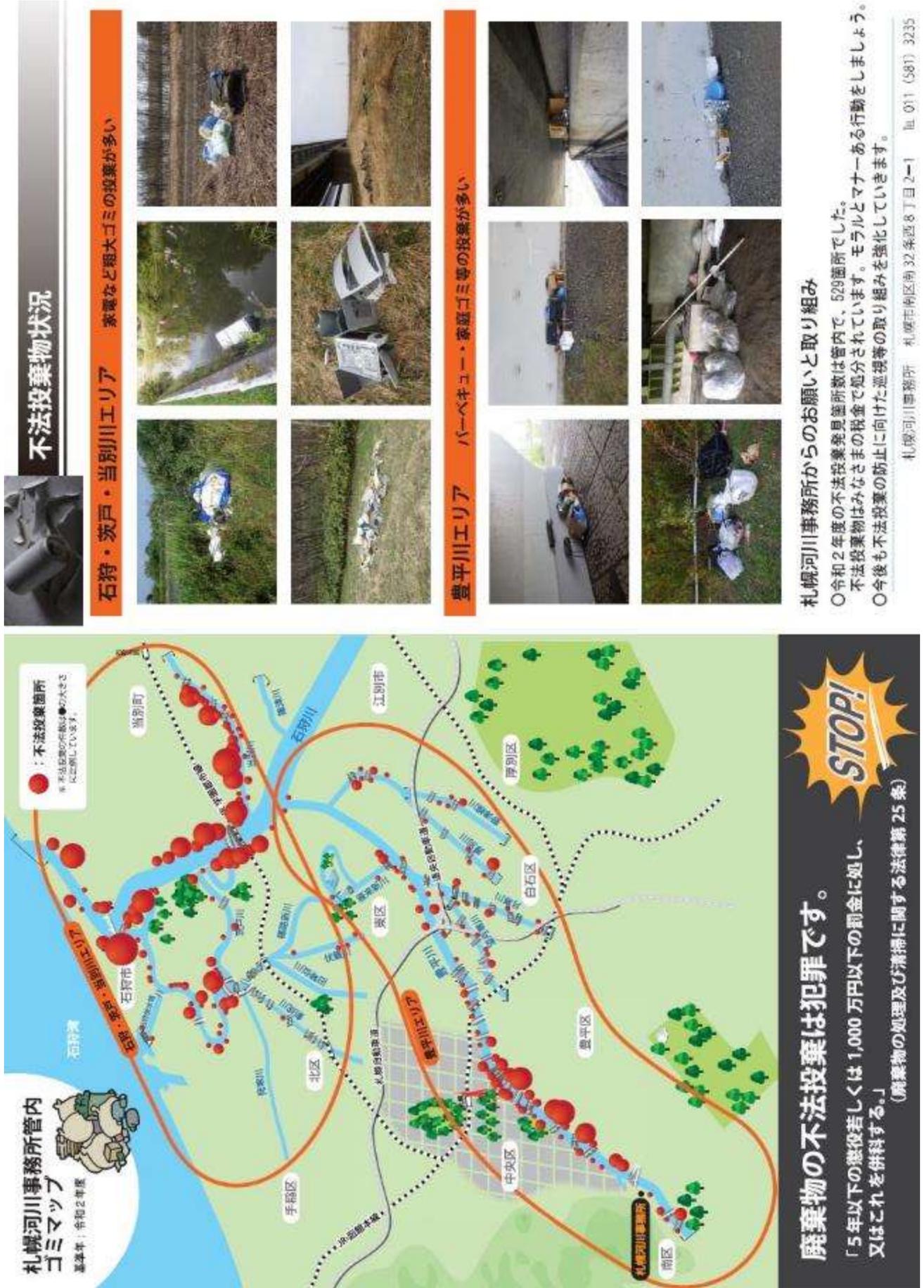


図 3-14 石狩川下流ごみマップ(令和2年作成) 札幌開発建設部 札幌河川事務所

3.2.3 天塩川

天塩川の調査地点は図 3-15 に、現地調査時の各地点状況は図 3-16～図 3-18 に示すとおりである。天塩川は上流域に名寄市(人口 2.6 万人)、下流域に士別市(人口 1.7 万人)を擁し、人口はそれら二都市に集中している。下流域では食用羊育成等の酪農が盛んである。また、最下流周辺にはサロベツ湿原が広がっている。

昨年度調査では、名寄大橋(名寄市)は名寄市の下流にあり、天塩川上流部のごみの現状把握のため調査地点に設定された。

また、天塩河口大橋(天塩郡天塩町)は酪農地域下流にあり、サロベツ湿原から流れるサロベツ川との合流地点下流に位置しており、下流域のごみの状況把握のため調査地点に設定された。

浜里(天塩郡幌延町)は、さらに北部で漂着ごみ対策総合検討業務による調査(環境省)が実施されていることと、航空写真から流木の漂着が多く確認されていたことなどから、昨年度調査において調査地点に設定されている。

天塩川河口の周辺海域においては、サケの定置網漁業権、ホタテの区画漁業権が設定されており、漁港も存在している。

なお、本年度調査は、昨年度と同じ地点で調査を行うこととした。

天塩川の「河川ごみマップ」は図 3-19、図 3-20 に示すとおりである。同マップによると、不法投棄ごみは名寄市、士別市に集中しており、家庭ごみを中心に古タイヤ、自転車、家電などの大型ごみも確認されている。

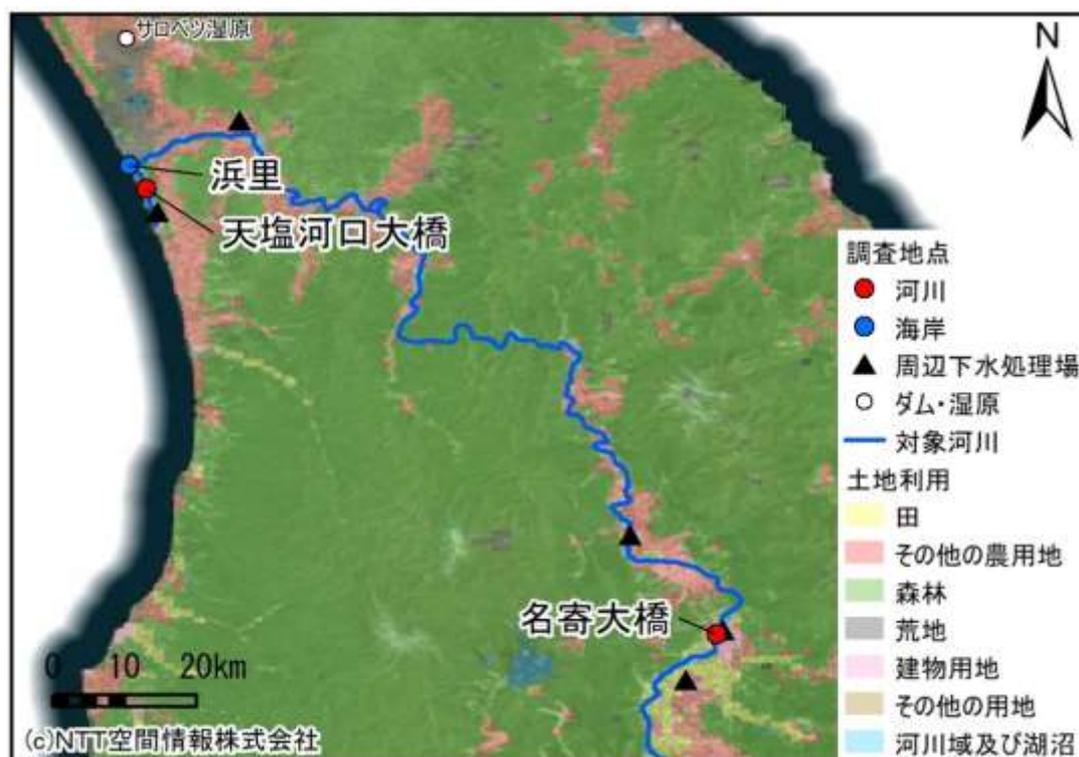


図 3-15 調査対象地域詳細図(天塩川水系)



調査対象地域詳細図（名寄大橋）



河川ごみ調査地点



マイクロプラスチック採取地点（橋上）

図 3-16 調査地点(名寄大橋)



調査対象地域詳細図（天塩河口大橋）



河川ごみ調査地点



マイクロプラスチック採取地点（橋上）

図 3-17 調査地点(天塩河口大橋)



調査対象地域詳細図（浜里）



漂着ごみ調査地点



マイクロプラスチック採取

図 3-18 調査地点(浜里)

天塩川下流ゴミマップ

漂着ゴミが、希少種たちが暮らす環境に入り込んでいます

天塩川下流で見られるゴミの多くは漂着ゴミです。右のグラフからわかるように不法投棄の件数は少ないですが、流域の上流から流れ着く物の他、海からの漂着の廻上で、他地域・他国からとみられる漂着ゴミも辿り着いて、天塩川下流の生態系に悪影響を与えています。
あなたの車でポイ捨てされたゴミが天塩川を汚してしまい、希少種たちが暮らす環境が汚されてしまうかもしれません。
希少種たちの姿とゴミは、あまりに不釣り合いです。希少種たちの命を守るためにも、身近な場所の環境保全から始めてみませんか。

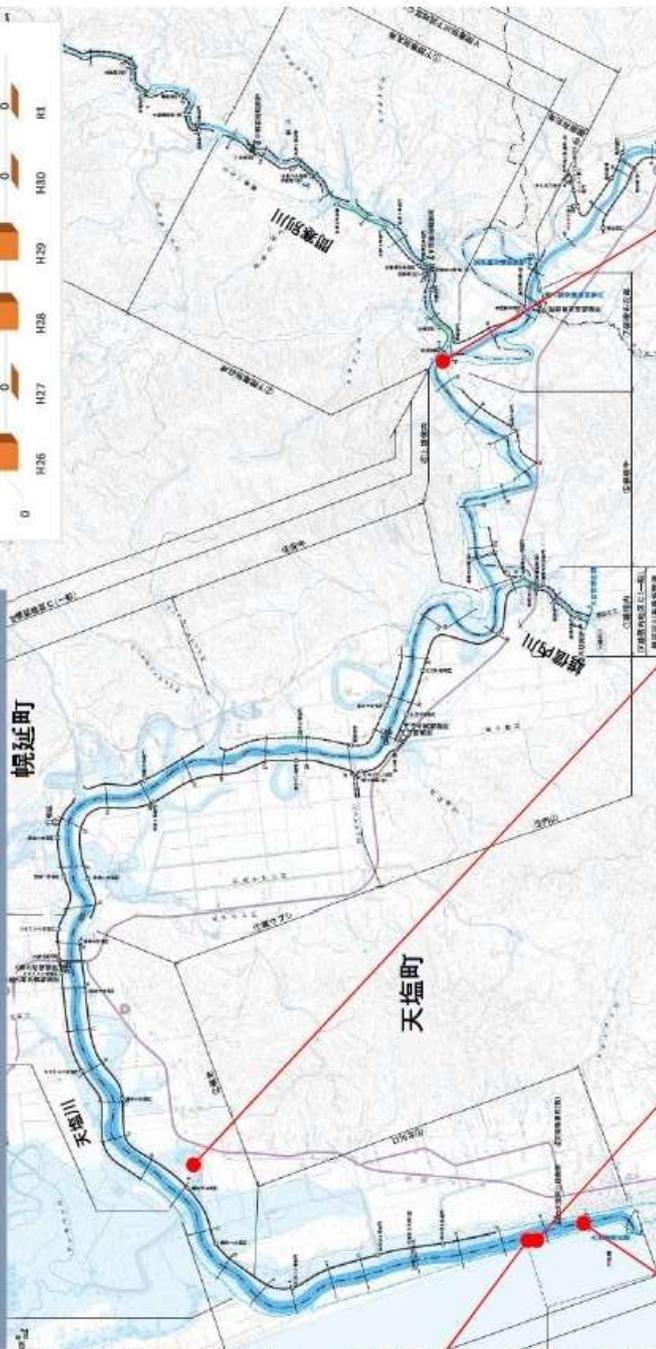
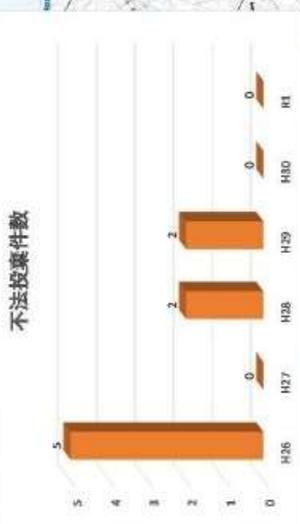


図 3-20 天塩川下流 ゴミマップ 旭川開発建設部 名寄河川事務所

3.2.4 常呂川

常呂川の調査地点は図 3-21 に、現地調査時の各地点状況は図 3-22～図 3-26 に示すとおりである。常呂川は上流部に鹿ノ子ダムを擁し、ダム下流から開成橋付近まで農耕地、開成橋下流から北見市浄化センター付近まで市街地が広がっている。

昨年度調査では、各エリアの状況把握のため、開成橋、南町堰湛水地、南町堰下流、北見市浄化センターが調査地点として設定された。

南町堰下流では、堰によるマイクロプラスチックの挙動の確認、北見市浄化センター放水合流地点では、周囲に銭湯もあることから、破片状、繊維状のマイクロプラスチックごみの挙動を調査した。

また、最下流域においては、常呂町の常呂終末処理場より下流で、最も河口に近い常呂橋が昨年度調査の調査地点として設定された。

なお、本年度調査は、昨年度と同じ地点で調査を行うこととした。

常呂川の「河川ごみマップ」は図 3-27 に示すとおりである。同マップによると、不法投棄は北見市に集中しており、一般ごみのほか、廃棄された自動車部品、家電ごみなどが確認されている。

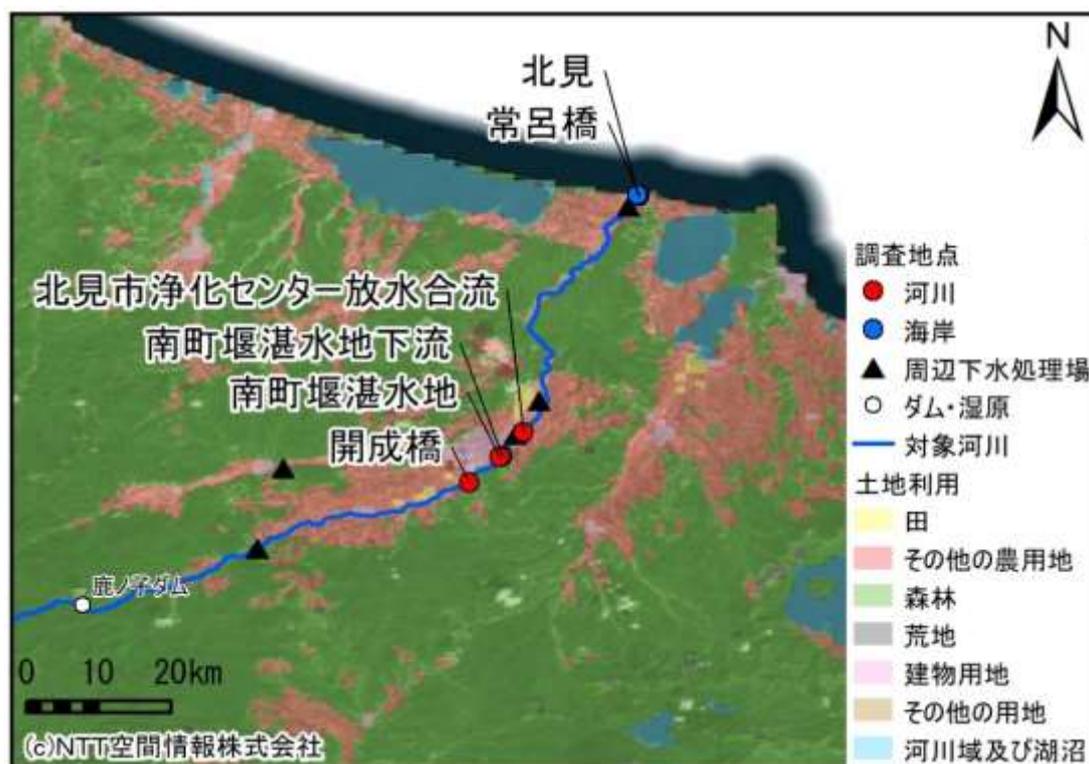


図 3-21 調査対象地域詳細図（常呂川水系）



調査対象地域詳細図（開成橋）



河川ごみ調査地点



マイクロプラスチック採取（河川立ち入り）

図 3-22 調査地点（開成橋）



調査対象地域詳細図（南町堰 湛水地および下流）



河川ごみ調査地点（南町堰湛水地）



南町堰



マイクロプラスチック採取
（南町堰湛水地：河川立ち入り）



マイクロプラスチック採取
（南町堰下流：河川立ち入り）

図 3-23 調査地点（南町堰 湛水地および下流）



調査対象地域詳細図（北見市浄化センター）



マイクロプラスチック採取(足場上)



マイクロプラスチック採取(足場上)

図 3-24 調査地点(北見市浄化センター)



調査対象地域詳細図（常呂橋）



河川ごみ調査地点（常呂橋）



マイクロプラスチック採取（橋上）

図 3-25 調査地点（常呂橋）



調査対象地域詳細図（北見）



漂着ごみ調査地点



マイクロプラスチック採取

図 3-26 調査地点(北見)

3.2.5 十勝川

十勝川の調査地点は図 3-28、現地調査時の各地点状況は、図 3-29～図 3-35 に示すとおりである。

十勝川は流域面積が全国 6 位の河川で、屈足ダム下流域から中流域にかけて十勝平野が広がっている。

十勝平野中央部には、流域最大の都市である帯広市を中心に市街地が広がっている。人口は、帯広市周辺に集中しており、屈足ダム下流域から市街地にかけては酪農、畜産、畑作を中心とした農地である。また、市街地の上流側には工業団地、下流には十勝川温泉があり、十勝川下流は林業が盛んな地域となっている。

昨年度調査では、屈足ダム下流の農業地帯の状況把握のため市街地に入る前の十勝橋が調査地点として設定された。そのほか、工業地帯及び十勝川流域下水道浄化センターの下流である平原大橋、市街地中央に位置する十勝大橋、十勝川温泉の下流で十勝温泉浄化センター付近に位置する十勝温泉地下流が昨年度調査の調査地点として設定された。

下流域は、最下流の十勝河口橋、河口右岸部の大津下水浄化センター放水口が調査地点として設定された。

本年度調査は、昨年度と同じ地点で調査を行うこととした。

なお、十勝温泉地下流と大津下水浄化センターについては、昨年度調査と同様、処理場放流水の影響を把握するためマイクロプラスチック調査のみの地点として設定した。

十勝川の「河川ごみマップ」は図 3-36、図 3-37 に示すとおりである。同マップによると、上流域においては帯広市を中心にごみの不法投棄がみられ、6 割以上が家庭ごみであった。そのほか、古タイヤや家電、バーベキュー後のコンロなどが確認されている。下流域においては、上流域都市部に近いエリアと、河口に近いエリアで家庭ごみ、古タイヤや家電などの不法投棄が確認されている。

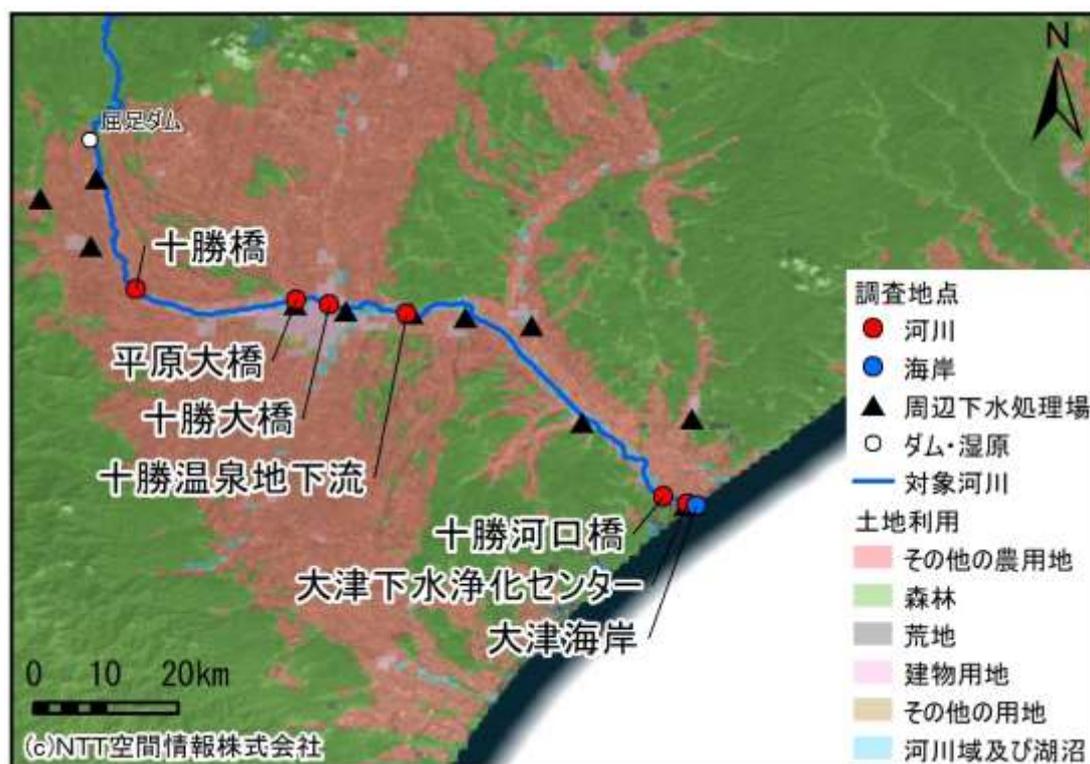


図 3-28 調査対象地域詳細図（十勝川水系）



調査対象地域詳細図（十勝橋）



河川ごみ調査地点
（十勝橋）



マイクロプラスチック採取
（河川立ち入り）

図 3-29 調査地点（十勝橋）



調査対象地域詳細図（平原大橋）



河川ごみ調査地点
（平原大橋）



マイクロプラスチック採取地点
（河川立ち入り）

図 3-30 調査地点(平原大橋)



調査対象地域詳細図（十勝大橋）



河川ごみ調査地点（十勝大橋）



マイクロプラスチック採取地点（橋上）

図 3-31 調査地点（十勝大橋）



調査対象地域詳細図（十勝温泉地下流）



マイクロプラスチック採取地点
（十勝温泉地下流）



マイクロプラスチック採取
（河川立ち入り）

図 3-32 調査地点(十勝温泉地下流)



調査対象地域詳細図（大津下水浄化センター）



マイクロプラスチック採取地点
（大津下水浄化センター）



マイクロプラスチック採取
（河川立ち入り）

図 3-33 調査地点(大津下水浄化センター)



調査対象地域詳細図（十勝河口橋）



河川ごみ調査地点（十勝河口橋）

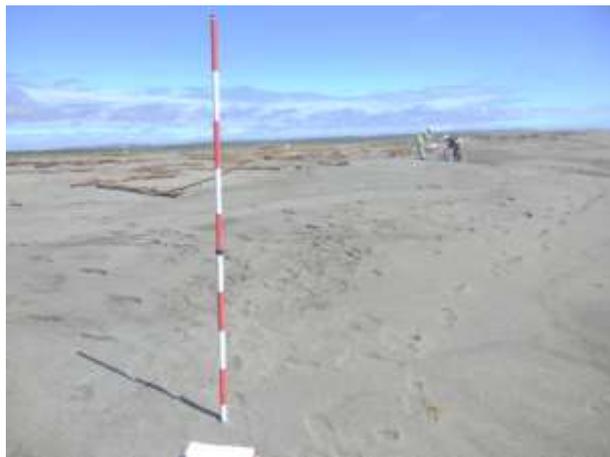


マイクロプラスチック採取地点（橋上）

図 3-34 調査地点（十勝河口橋）



調査対象地域詳細図（大津海岸）



漂着ごみ調査地点



マイクロプラスチック採取

図 3-35 調査地点(大津海岸)



図 3-36 十勝川上流 ゴミマップ 帯広開発建設部 帯広河川事務所

十勝川水系下流 ごみマップ

池田河川事務所管内

R2年度 不法投棄ごみ件数 **128件!!**



十勝川は豊かな自然に囲まれた川ですが、不法投棄が後を絶ちません。不法投棄は美しい環境を損なうだけでなく、周囲を不衛生にするほか、有害物質による土壌・水質の汚染につながる恐れがあります。ルールを守り、みんなできれいな川づくりを目指しましょう。



図 3-37 十勝川下流 ごみマップ 帯広開発建設部 池田河川事務所

3.3 各調査地点の河川の水位変動

本年度調査における調査地点近傍の観測所で記録された河川の水位と調査実施日の関係は、図 3-38 に示すとおりである。

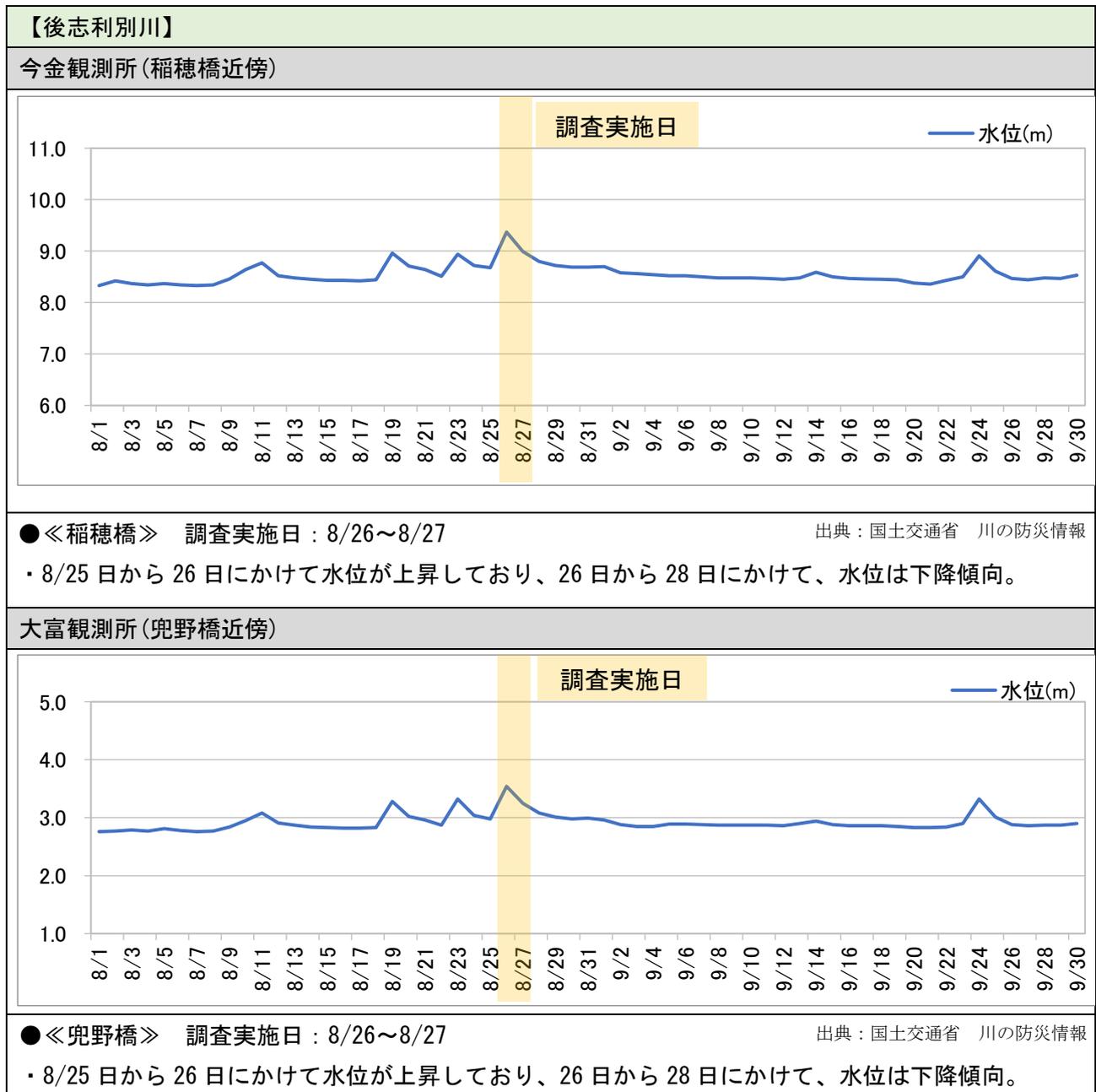


図 3-38(1) 河川の水位変動(後志利別川)

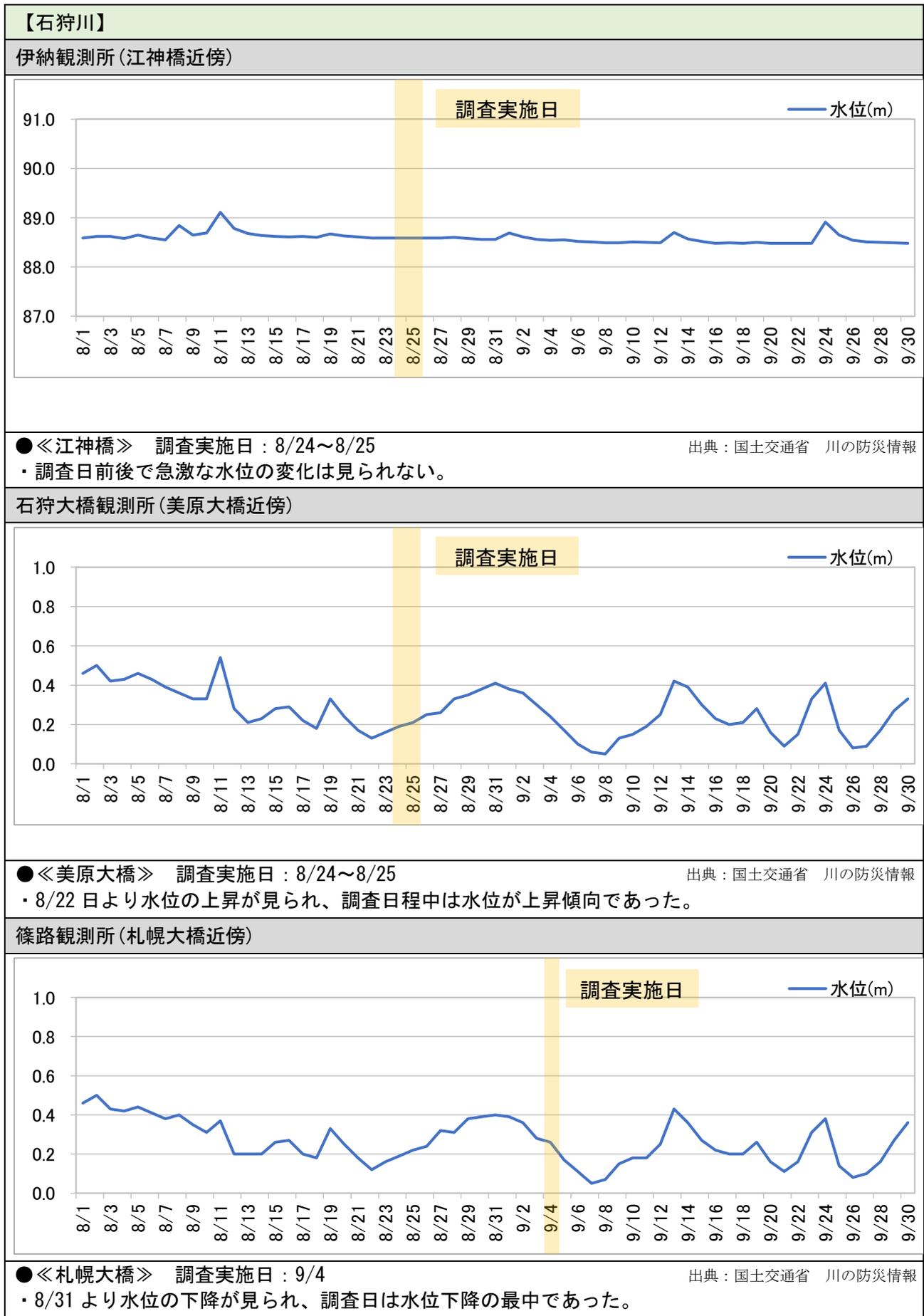


図 3-38(2) 河川の水位変動(石狩川)

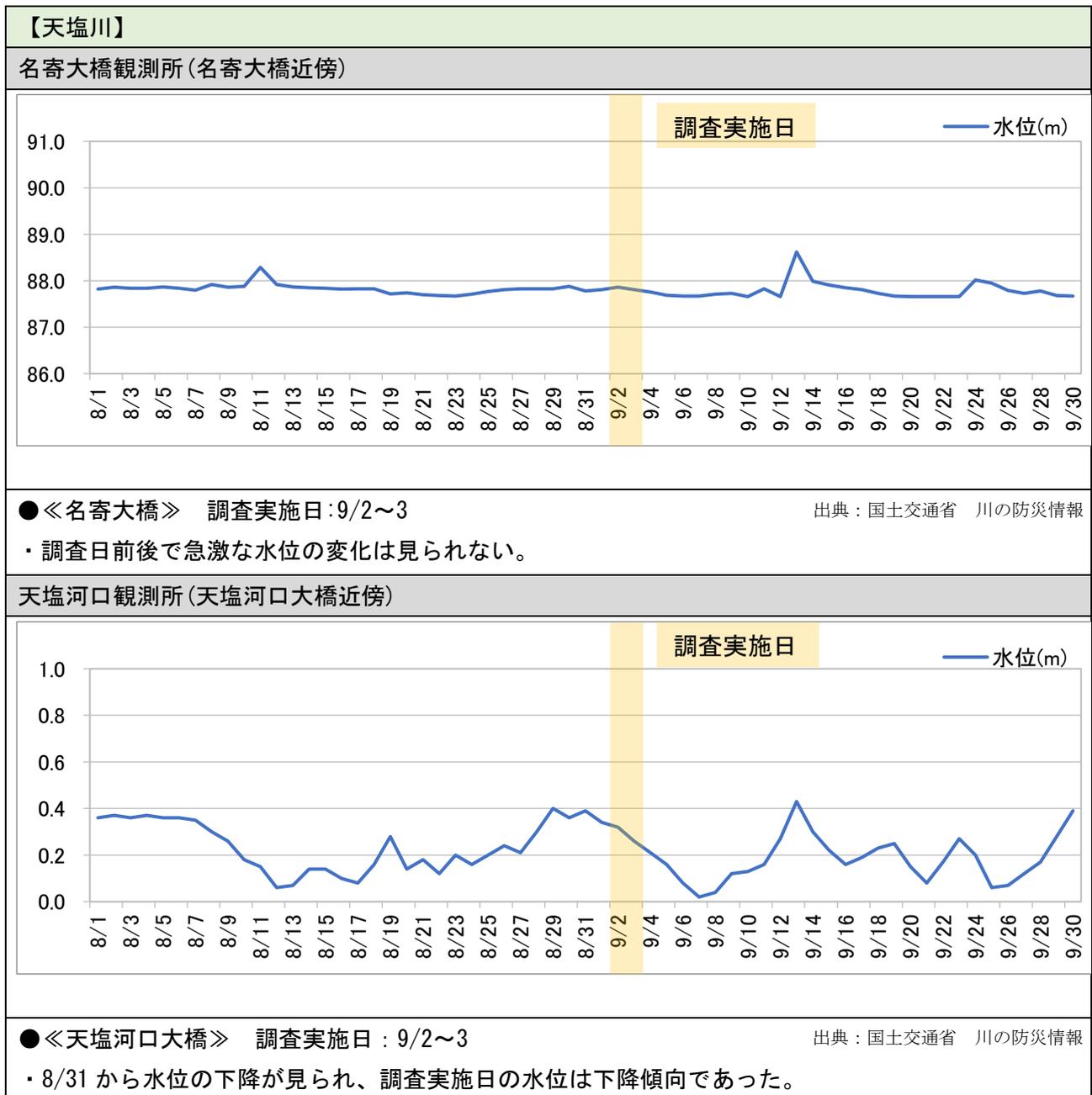


図 3-38(3) 河川の水位変動(天塩川)

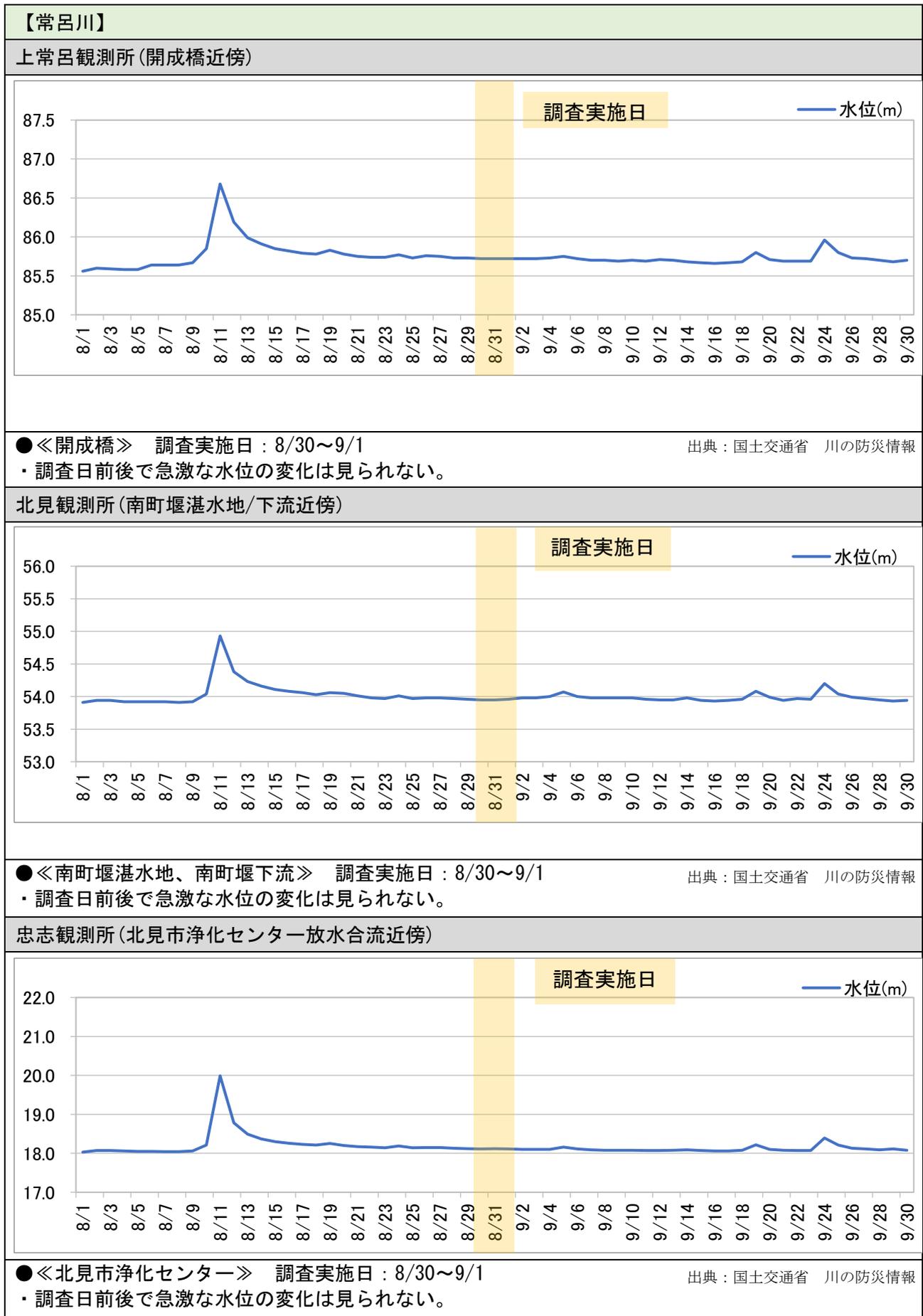


図 3-38(4) 河川の水位変動(常呂川 1)

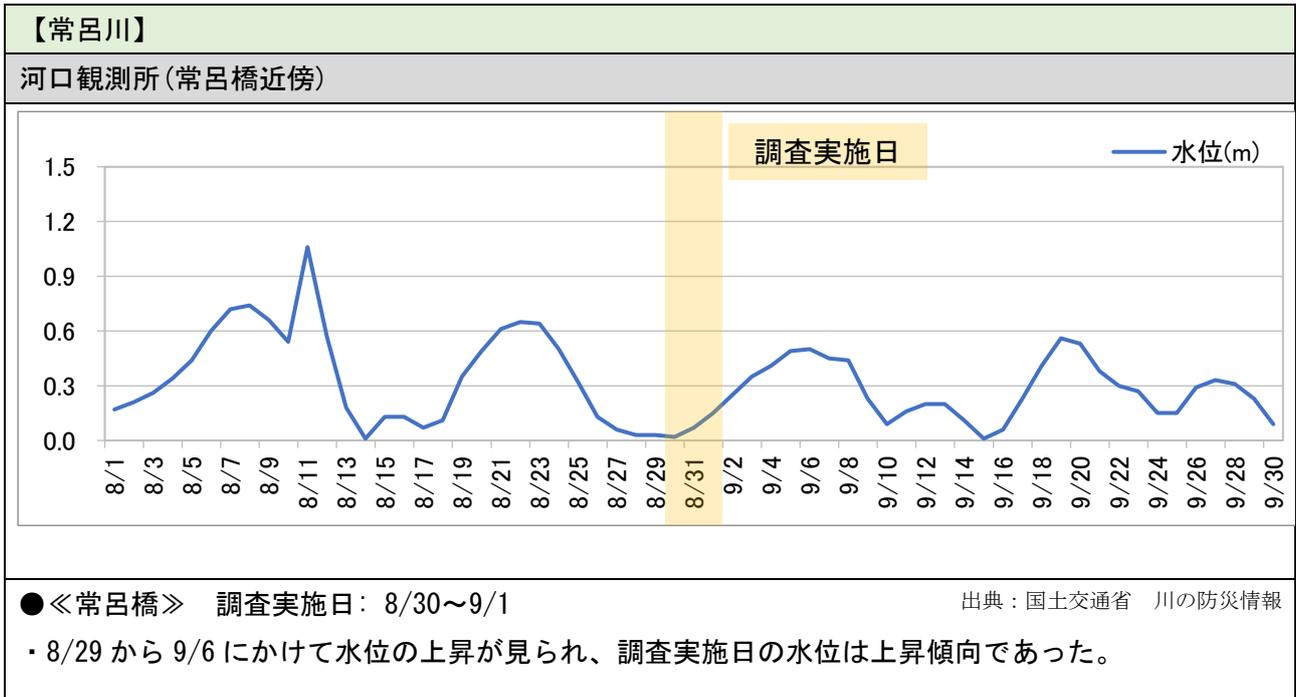


図 3-38(5) 河川の水位変動(常呂川 2)

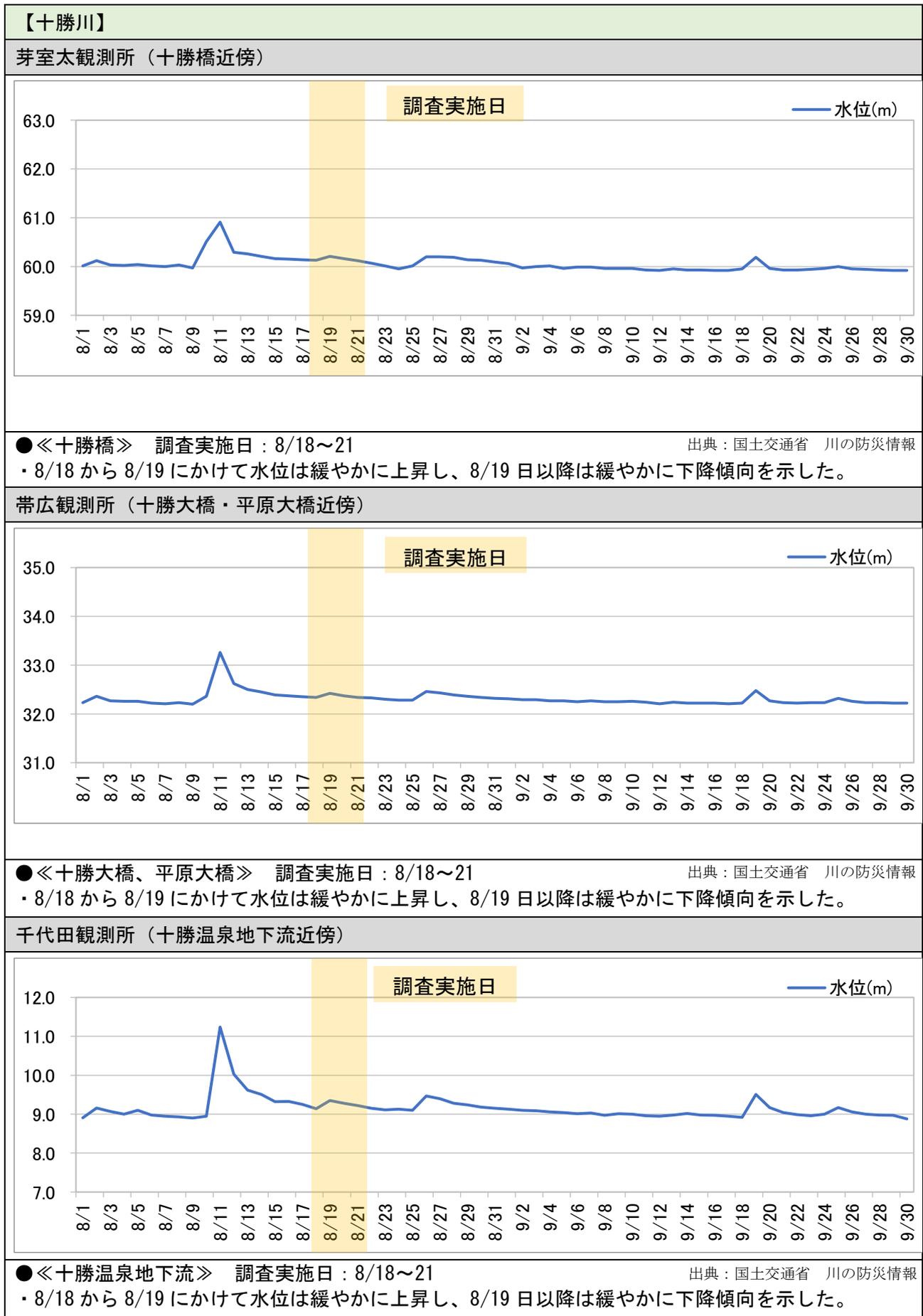


図 3-38(6) 河川の水位変動(十勝川1)

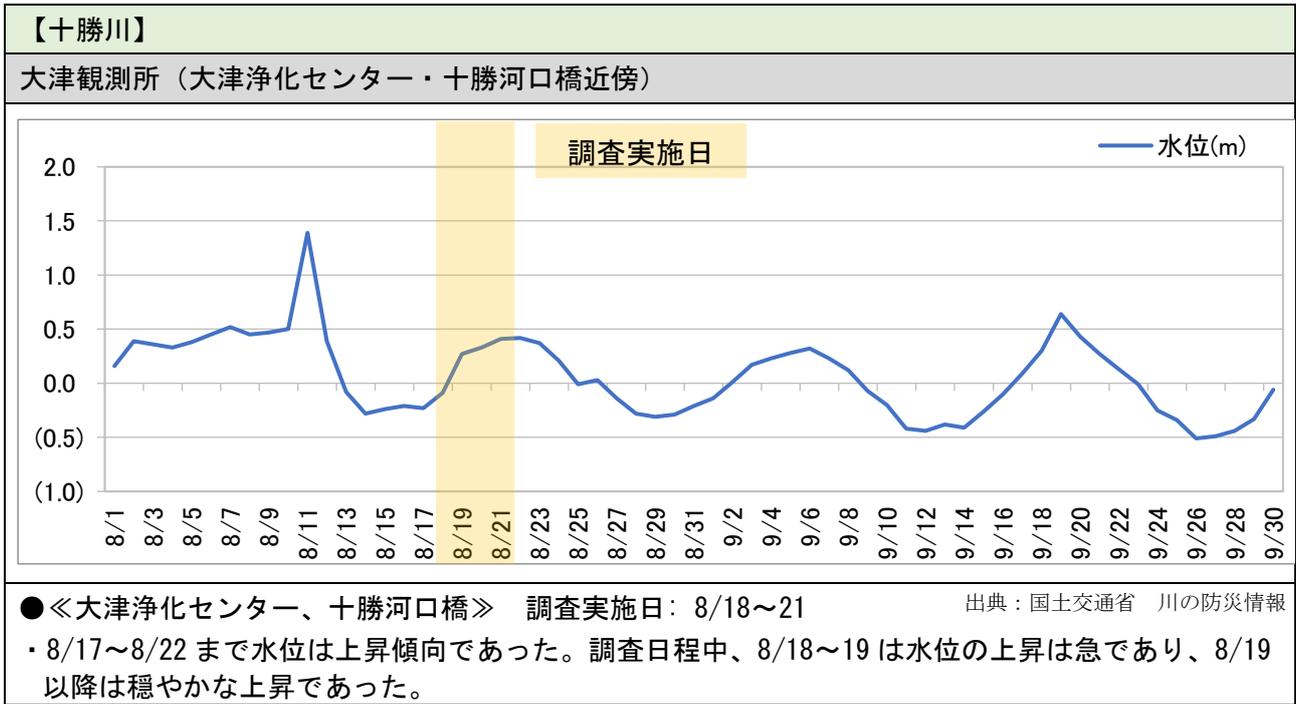


図 3-38 (7) 河川の水位変動(十勝川 2)